



北村 あや子 区政ニュース

学校給食無償化 葛飾区に続きお隣・北区、品川区も実施へ

公立小中学校の給食無償化が 23 区でも広がっています。葛飾区は、来年度から各世帯の子ども数や所得に関わらず給食の完全無償化を実施すると発表。北区、品川区も来年度からの実施を表明。

東京新聞 1 月 4 日の報道では、学校給食の完全無償化について、23 区のうち「前向きに検討」が台東、足立など4区、実施の可否も含め「検討中」が6区、「実施予定なし」が10 区という結果に。荒川区は残念ながら「実施予定なし」と回答したようです。

世田谷区は就学援助を拡大し「年収 760 万円以下の世帯の子どもは無償」としており、公立小中学校の子ども3分の1が対象に。台東区は、物価高騰対策として今年1～3月分を無償化しています。両区とも、完全無償化についても前向きです。

荒川区の無償化に必要な予算は全体予算の約 0.5%、財政的にも十分可能です。現在は、就学援助制度で低所得世帯への補助があります。しかし対象が限定され、申請に心理的なハードルもあります。

日本共産党区議団は義務教育の無償化や少子化対策としても早期の実施を、と繰り返し区議会で提案(下表)。荒川区も国・都任せではなく決断を。あと一步、実現へみなさんと一緒に頑張ります。

【区議団の提案】	区の答弁など
2012年11月会議 本会議で質問	「学校給食法により保護者が負担とすることとされており、無料化は難しい」
2014年2月会議 条例を提案	反対多数で否決 「食べる部分には一定自己負担が当然必要(自民)」「国・都がやるべき(公明)」
2015年2月会議 条例を提案	反対多数で否決 「食材費は保護者の方からいただくというのは、やはり適切(自民)」「必要な方には、就学援助で支援がなされている(公明)」
2016年2月会議 条例を提案	反対多数で否決 「財源の問題というのは慎重に考えざるを得ない(公明)」
11月会議 本会議で質問	「食材費等の経費につきましては、保護者が負担するという考え」
2017年9月会議 本会議で質問	「食材費などにつきましては、保護者の負担としている」
2018年2月会議 本会議で質問	「多額の経費が必要であり、自治体独自ではなく、国の政策として広域的に実施することが望ましい」 ※公明「無償化を促進するよう東京都に対し訴える時期に来ている」と質問
2018年9月会議 本会議で質問	「多額の経費が必要であり、自治体独自ではなく、国の政策として広域的に実施することが望ましい」
2019年2月会議 本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
9月会議 本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
2020年11月会議 本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
2021年6月会議 本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
2022年9月会議 本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策としてその財源において広域的に実施することが望ましい」 ※公明「第3子以降の無償化を」と質問、区は「多子世帯への負担軽減が図れるものとして認識、方針を検討する」

来年度、学校給食の完全無償化を…

実施の予定	葛飾、北、品川
前向きに検討中	台東、中央、足立、世田谷
検討中	江戸川、豊島、中野、杉並、渋谷、新宿
実施予定なし	荒川、板橋、大田、江東、墨田、千代田、練馬、文京、港、目黒



- ・足立、北… 第2子半額、第3子以降無償化
- ・葛飾、品川… 第3子以降無償化
- ・台東… 1～3月まで完全無償化



発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668





シルバー人材センター どうするインボイス対応

荒川区発注分の消費税は区が負担予定 会員負担なし

10月から実施されるインボイス制度はシルバー会員にも関わる問題です。インボイス制度への批判が強まるなか激変緩和措置がとられ、今年10月から来年9月までは2%の消費税負担としています。

シルバー人材センターが受けている仕事の約7割は荒川区からの発注ということで、1月13日の財政援助団体委員会で、会員の消費税分は区が負担することが明らかになりました。区の事業に関わる会員さんには朗報ですが、約3割の民間発注分については制度の仕組みからセンターで負担できないとしています。日本共産党は民間発注であっても会員の負担をなくすため区が支援をするよう求めました。



あらかわひきこもり支援ステーション

ひきこもりは、様々な要因により誰にでも起こりうることで、特別なことではありません。ひきこもりの相談支援は、これまでも荒川区の関係部署が連携して行ってきましたが、窓口をわかりやすくするため、昨年末から「あらかわひきこもり支援ステーション」としました。ご本人やご家族で抱え込まず、どんな悩みでもお気軽に窓口までご相談ください。匿名でもOKです。まずはお電話を。

<場所>

荒川区役所 1階 福祉部生活福祉課自立支援係内
電話:03-3802-3111(内線 2613、2636)

<相談時間>

月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)

午前8時30分から正午、午後1時から午後4時30分

東京おこめクーポン いつ始まるの？

昨年11月に発表された東京都の「おこめクーポン」事業について、「いつ始まるの？」と問い合わせがありました。

国産農産物を活用した低所得世帯への生活支援で、対象は都内の非課税世帯(174万世帯)。1世帯あたり1万円分のお米や野菜などの食料品を自宅へ配送する計画です。296億円の予算が付けられています。はがきか専用サイトからの申し込みが必要で、実施は2月頃を予定しているそうです。詳細が分かり次第、お知らせします。

今年も4月までに7,000品目以上の値上げが決まっているとの報道があります。もう限界です。国は、軍事費より経済とくらし支援に予算を増してほしい。



街の声

☆西尾久5丁目児童遊園の遊具がペンキでいたずら書きされていました。すぐに区の担当部署に連絡しました。翌日には清掃して、こぶたさんはきれいになりました。区の職員さんの早い対応、ありがとうございます。

日時: 2月17日(金) 18:30~20:00 **要予約** 感染対策のためご協力ください

会場: **北村あや子事務所**(西尾久2-4-8) TEL&FAX:03-3894-6668

日々の生活、仕事...ひとりりで悩まずご相談ください。弁護士と北村が相談をうかがいます。生活相談はいつでもどうぞ。留守電の場合は、お名前と電話番号を録音してください。

